

新規出展社が大幅増

ERG西 来場者増え活発商談

エコール流通グループ株式会社(一ノ瀬社長、東京都)は、5月21日に大阪府中央区のOMビルで、「2024エコール見本市」を主催、前年比4・6%増の272店舗、同11・3%増の395人が来場して活発な商談を展開した。



9時45分から開会式を行い、一ノ瀬社長は「事業概況については、売上は昨年並みをキープしているが、数量が落ち込み、値上げ効果も十分売上に波及していない。昨年の大見本市で、『書く・描くことの大切さ』を有益な情報として、流通



三段階全体で取り組もうと呼びかけた。ショウワノートは、雑誌の小学一年生5・6月合併号の裏表紙に、手書きの大切さをアピールする広告を掲載、三菱鉛筆は、書く・描くという表現体験を提供するスタンプを開設、パイロットは、手書きの良さを科学的に検証する『手書き価値研究会』への参画や書くことの意義を『書く・描くことの大切さ』を有益な情報として、イベント提案

伝えるプロジェクトへの協賛、日本製紙連合会は、ラブレターを書くハレンタインコンテスト実施など、それぞれ独自に書く・描くことの意義や大切さを訴求する活動や販促を実施、発信力を高めている。書くことと描くこと、脳を刺激する、あつたら良いな、をキーワードとする商材の魅力や価値をエンドユーザーへどう伝えるか。モノ売りからコト売りへのシフトの中で、商品の魅力を伝える売場づくりとは、グループ各社が知恵を絞って、企画立案を進めた提案コーナーを大幅に拡充した。今回の新規出展は20社の大幅増となる、

堀隆理事長が留任

大阪紙文具流通センター総会

働きやすい団地目指して

登半島地震へ見舞いの言葉を述べた後、「昨年5月に新型コロナウイルスの取扱いが第5類に分類され、色々な催しがほぼコロナ前と同様に行われるようになり、社会全体が新たな日常に向けて動き出した。この緩和措置により国内経済も活気づき、日経平均株価がバブル後の最高値を更新し、一時4万円台を上回るようにもなった。当組合は令和5年度に中央監視盤や共同倉庫の改修工事を実施しながら、安定した収益を計上することができた。各種の組合事業をほほコロナ前と同様に開催し、納涼ハイパードイ、



堀理事長を再選した流通センター総会

ゴルフ、ボリリング大会などに多数の参加を得た。また、組合員各社の従業員向け教育研修事業として、営業基礎強化研修などを実施したところ、受講者や各社から好評を得た。令和6年度も5講座を開催する。団地開設から50年以上が経過し、各所での補修工事も必要となっている。今後も現状の安定した運営を心掛

り、防災・BCP対策コーナーは12小間を展開、見どころ満載の魅力あふれる見本市となっている。販売店各位にお役立ちできる見本市としていきたいと挨拶。続いて、出展社を代表し、LHIT LAB. 田中宏和社長が「コロナが明けたいものもの厳しい状況が続いている。今までの形が、売り広めていくことが大切」と、新しい市場ニーズへの対応を強調しながら挨拶。西康宏実行委員長の開会宣言で開場した。会場では、年末・年始の季節商材、売筋商材を中心に新規20社を加えた110社が出展。文具だけではなく新たな商材や店頭集客の施策など、幅広い提案が好評を博した。このうち、提案コーナーは、好評の「アイデア商品コーナー」を大幅に拡充した。今回の新規出展は20社の大幅増となる、

「この後、組合役員として運営に尽力した、松本武久副理事長と徳弘滋理事へ功労金を贈呈し、松本副理事長が「組合役員を28年務めた。団地も53年という年月を経たが、今後のことを考えると再開の問題も出てくる。次世代の人が団地を成長させ、団地が継続して残るように、堀理事長以下新役員各位が頑張ってください」と挨拶し、熊田副理事長の乾杯で開宴して種々歓談、寺浦浩之副理事長の中心締めで閉じた。

協同組合大阪紙文具流通センター(堀隆理事長)の第56回通常総会は、5月30日午後3時から東大阪市の組合会館で開催し、上程諸議案を承認可決したほか、任期満了に伴う役員改選では堀理事長が留任した。総会は、名和秀記専務理事の司会ではじめ、組合員総数41社のうち、本会23社、委任状17社の出席で総会成立を告げ、審議に先立ち堀理事長が、1月に起きた能

登半島地震へ見舞いの言葉を述べた後、「昨年5月に新型コロナウイルスの取扱いが第5類に分類され、色々な催しがほぼコロナ前と同様に行われるようになり、社会全体が新たな日常に向けて動き出した。この緩和措置により国内経済も活気づき、日経平均株価がバブル後の最高値を更新し、一時4万円台を上回るようにもなった。当組合は令和5年度に中央監視盤や共同倉庫の改修工事を実施しながら、安定した収益を計上することができた。各種の組合事業をほほコロナ前と同様に開催し、納涼ハイパードイ、

ゴルフ、ボリリング大会などに多数の参加を得た。また、組合員各社の従業員向け教育研修事業として、営業基礎強化研修などを実施したところ、受講者や各社から好評を得た。令和6年度も5講座を開催する。団地開設から50年以上が経過し、各所での補修工事も必要となっている。今後も現状の安定した運営を心掛

り、防災・BCP対策コーナーは12小間を展開、見どころ満載の魅力あふれる見本市となっている。販売店各位にお役立ちできる見本市としていきたいと挨拶。続いて、出展社を代表し、LHIT LAB. 田中宏和社長が「コロナが明けたいものもの厳しい状況が続いている。今までの形が、売り広めていくことが大切」と、新しい市場ニーズへの対応を強調しながら挨拶。西康宏実行委員長の開会宣言で開場した。会場では、年末・年始の季節商材、売筋商材を中心に新規20社を加えた110社が出展。文具だけではなく新たな商材や店頭集客の施策など、幅広い提案が好評を博した。このうち、提案コーナーは、好評の「アイデア商品コーナー」を大幅に拡充した。今回の新規出展は20社の大幅増となる、

KOKUYO

貼るって、こんなに変わる。

GLOC

り、防災・BCP対策コーナーは12小間を展開、見どころ満載の魅力あふれる見本市となっている。販売店各位にお役立ちできる見本市としていきたいと挨拶。続いて、出展社を代表し、LHIT LAB. 田中宏和社長が「コロナが明けたいものもの厳しい状況が続いている。今までの形が、売り広めていくことが大切」と、新しい市場ニーズへの対応を強調しながら挨拶。西康宏実行委員長の開会宣言で開場した。会場では、年末・年始の季節商材、売筋商材を中心に新規20社を加えた110社が出展。文具だけではなく新たな商材や店頭集客の施策など、幅広い提案が好評を博した。このうち、提案コーナーは、好評の「アイデア商品コーナー」を大幅に拡充した。今回の新規出展は20社の大幅増となる、

り、防災・BCP対策コーナーは12小間を展開、見どころ満載の魅力あふれる見本市となっている。販売店各位にお役立ちできる見本市としていきたいと挨拶。続いて、出展社を代表し、LHIT LAB. 田中宏和社長が「コロナが明けたいものもの厳しい状況が続いている。今までの形が、売り広めていくことが大切」と、新しい市場ニーズへの対応を強調しながら挨拶。西康宏実行委員長の開会宣言で開場した。会場では、年末・年始の季節商材、売筋商材を中心に新規20社を加えた110社が出展。文具だけではなく新たな商材や店頭集客の施策など、幅広い提案が好評を博した。このうち、提案コーナーは、好評の「アイデア商品コーナー」を大幅に拡充した。今回の新規出展は20社の大幅増となる、

り、防災・BCP対策コーナーは12小間を展開、見どころ満載の魅力あふれる見本市となっている。販売店各位にお役立ちできる見本市としていきたいと挨拶。続いて、出展社を代表し、LHIT LAB. 田中宏和社長が「コロナが明けたいものもの厳しい状況が続いている。今までの形が、売り広めていくことが大切」と、新しい市場ニーズへの対応を強調しながら挨拶。西康宏実行委員長の開会宣言で開場した。会場では、年末・年始の季節商材、売筋商材を中心に新規20社を加えた110社が出展。文具だけではなく新たな商材や店頭集客の施策など、幅広い提案が好評を博した。このうち、提案コーナーは、好評の「アイデア商品コーナー」を大幅に拡充した。今回の新規出展は20社の大幅増となる、